

平成21年9月

木谷憲典 学位論文審査要旨

主 査 林 一 彦
副主査 井 藤 久 雄
同 領 家 和 男

主論文

High expression of EZH2 is associated with tumor proliferation and prognosis in human oral squamous cell carcinomas

(口腔癌におけるEZH2の高発現は腫瘍増殖および予後との関連性がある)

(著者：木谷憲典、尾崎充彦、田村隆行、山家健作、庄盛浩平、領家和男、井藤久雄)

平成21年 Oral oncology 45巻 39頁～46頁

審査結果の要旨

本研究は口腔扁平上皮癌において初めてEZH2が発現することを示した。さらにEZH2発現と口腔扁平上皮癌の分化度、臨床病期、腫瘍径、リンパ節転移との相関関係を示し、臨床病理学的因子を比較し、口腔癌における有用な予後不良のマーカーとなる可能性を示唆した。このEZH2は近年特になん治療の標的分子となる可能性示唆されており、口腔癌治療における新しい予後指標となるだけでなく、分子標的治療への応用される可能性がある。本論文の内容は、口腔癌分野での学術水準を明らかに高めたものと認める。